

1. 便利で快適なまちづくり

1. 道路交通体系の整備

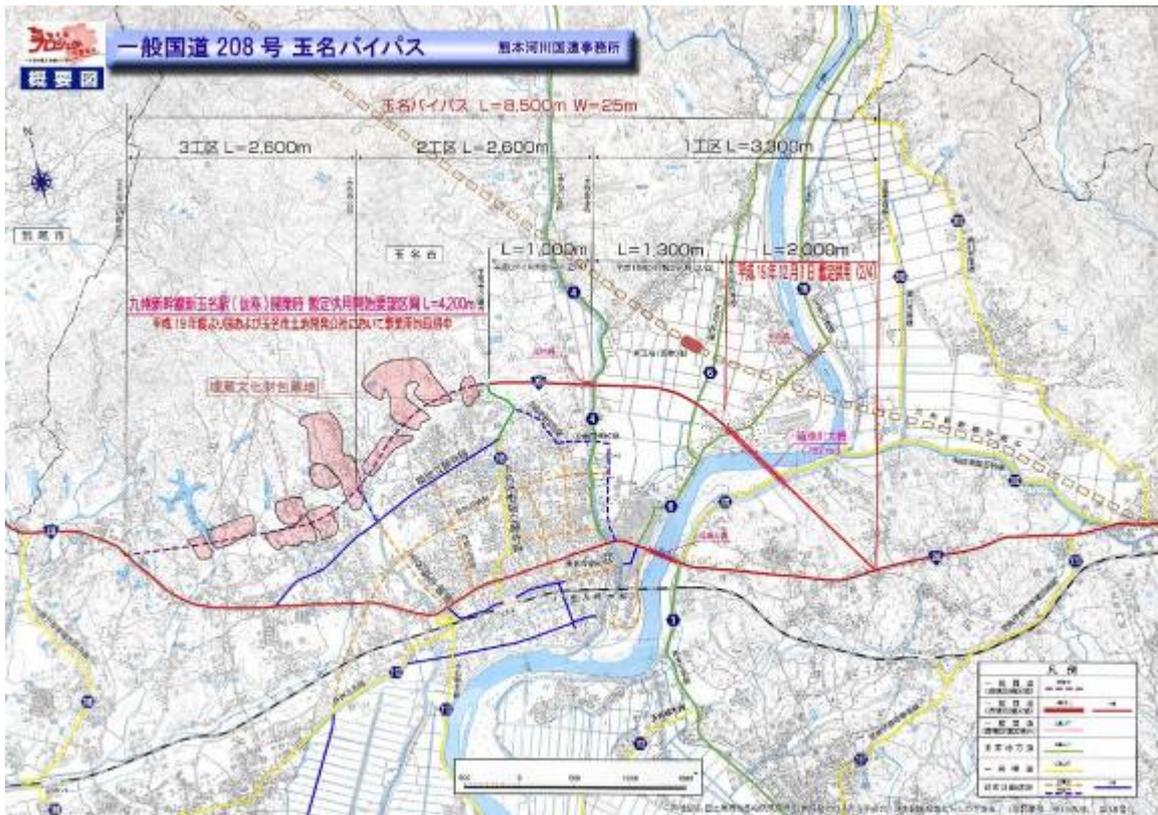
玉名バイパス建設促進費

担当課・・・土木課

事業費・・・45,139千円

玉名バイパスは、慢性化する国道208号の交通渋滞の緩和、及び交通事故の抑止を目的に、昭和49年度に事業化され、現在は九州新幹線新玉名駅へのアクセスルートと位置づけられた重要な幹線道路です。全長8.5kmのうち、平成19年度までに寺田～立願寺までの4.3kmが暫定2車線で供用を開始しました。残る岱明町開田までの4.2kmについても国と連携した用地取得を行い、一部の区画で工事を着工しており、九州新幹線の全線開業に合わせた供用を目指します。

また、国の予算確保のために、期成会等による提言活動を推進するなど、建設促進に努めます。



岱明玉名線

担当課・・・土木課

事業費・・・610,000千円

新地域の骨格を形成する幹線道路は、東西方向に走る国道208号及び国道501号を位置づけ、岱明玉名線を南北方向の幹線道路として整備しています。

これにより、主要な交通結節点を結ぶアクセス道路として、物流及び交通の活性化に寄与するよう努めます。

現在、国道501号から県道長洲玉名線までの2,600mが完成し供用開始をしているところであり、残りの国道208号線までの1,100mを平成27年度完成予定で事業を進めているところです。



岱明玉名線（一部完成）

1. 便利で快適なまちづくり

都市計画道路の整備

事業費・・・260,789千円

担当課・・・都市計画課



立願寺横町線（一部完成）

都市計画道路は、市民のみなさんが安全で便利が良く、快適に暮らせるようにするための、将来のまちづくりの基盤となるものです。このため、時代にふさわしい見直しを図りながら、計画的な整備を進めています。

【主な事業】

立願寺横町線：期間 H18～H24 年度

九州新幹線鹿児島ルート全線開業に伴い、九州新幹線新玉名駅から温泉街、公共文化施設集積ゾーン、市街地、国道208号線へアクセスする道路を整備します。

境川山田線：期間 H18～H22 年度

宅地化が進む築山地区を通り、都市計画道路築地立願寺線と玉名バイパスを結び九州新幹線新玉名駅へアクセスする道路を整備します。

都市計画区域見直し事業

事業費・・・138千円

担当課・・・都市計画課

現在の玉名市では、玉名都市計画区域と長洲都市計画区域の岱明地区の2つにわかれており、また、大栄地区、三ツ川地区が区域外であるほか、横島自治区、天水自治区の範囲については、合併によって都市計画区域を定めることができるようになりました。

玉名市全域を一体の都市として、誰もが暮らしやすく、快適なまちづくりを計画的に進めるため、都市計画区域の見直し事業を行います。

参考 玉名市の都市計画区域（現在）



県営道路事業負担金

負担金・・・5,669千円

担当課・・・土木課

県道玉名立花線（一部完成）



この事業は、毎年市からの要望を基に県が計画的に行う事業で、県道に関する道路の拡幅、側溝の改良、舗装を新しくするなど、利便性の向上と安全の確保を目的に改善を行う事業であり、その事業に対する費用の一部を市から負担しています。

1. 便利で快適なまちづくり

生活道路網の整備

担当課・・・土木課

事業費・・・350,920千円

道路整備費(市単独事業)

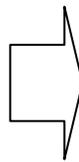
・・・260,958千円

道路維持管理費

・・・89,962千円

生活道路網の整備では、市道の拡幅工事を行ったり、舗装を新しくするなど、市民生活に最も密着した生活道路を計画的に整備し、市民の利便性の向上と安全の確保に努めています。

道路維持では、市道の安全を守り、快適に利用できるよう、市内のパトロールを行い、破損箇所等の補修・除草(一部)、市道に付随する街路樹・街路灯・地下道などの維持管理を行っています。また、地元住民で、里道・水路を整備、補修される際必要となる機械借上げ、原材料の支給を要綱に基づき行っています。



○拡幅後舗装を新しくした市道です。



県営農免道路整備事業負担金

担当課・・・農林水産政策課

負担金・・・5,000千円

熊本県が行う農業農村整備事業の事業費の10%を玉名市が負担します。

この事業により農道を整備し、広域流通施設の機能を発揮させ(流通コストの削減及び高品質農産物の生産による生産性の向上)、地域農業を活性化させる事業です。



北牟田尾田農免道路

橋りょう維持事業

担当課・・・土木課

事業費・・・6,000千円

橋りょう維持事業とは、老朽化した橋りょうの長寿命化や耐久性の向上のため、構造物の劣化の予防や補修を行う事業です。これにより、橋りょうの安全性を確保し、通行車両や歩行者・自転車等が安心して通行できるように努めます。



1. 便利で快適なまちづくり

2. 公共交通の充実

新幹線新玉名駅周辺の整備

事業費・・・171,386千円

担当課・・・新幹線推進課

平成23年3月に予定されている九州新幹線鹿児島ルートの中線開業に向け、九州新幹線新玉名駅周辺の4haに駅前広場や駐車場などを整備します。

新玉名駅前広場基本レイアウト



1. 便利で快適なまちづくり

福祉送迎バス事業

事業費・・・5, 837千円

担当課・・・高齢介護課

合併前の福祉バスは、旧玉名市内 13 地区の高齢者の温泉施設(13 地区より福祉センター)への無料の送迎バスとして運行していました。合併後は、旧玉名市、旧 3 町の市民(高齢者)の交流を目的に温泉施設への送迎バスとして、福祉センターから岱明、横島、天水の温泉施設への運行を平成 19 年 4 月から開始しました。

福祉バスは、これまで自家用車や公共機関の利用ができなかった高齢者が、送迎福祉バスを利用し外出することにより、地域間の交流、生きがい作り、健康増進を目的に運行しています。また、高齢者の交流を促進する観点から岱明の「潮湯」、横島の「ゆとりーむ」、天水の「老人の憩いの家」を結ぶ横のラインを計画しています。

今後、さらに福祉バスの利用について、市民に周知を図り、広く浸透させます。



各温泉施設を結ぶ福祉バス

バス路線網の整備

事業費・・・51, 864千円

担当課・・・地域振興課



路線バス

(地方バス)

地域において必要不可欠な公共道路線の維持を図り、地域住民の生活交通の確保や福祉の向上のためバス事業者に補助金を交付し、路線バスの運行をしています。23 年春の九州新幹線全線開業を見据え、路線バスの再編に努めます。

・地方バス路線維持費等補助金

49, 835千円

(みかんタクシー)

玉名市天水町及び熊本市河内町において、既存の路線バスが廃止になり、他に代替可能な公共交通機関がない地域の生活交通の確保を図ることを目的に、事前予約制の乗合タクシーを運行しています。

・天水・河内みかんタクシー運行補助金

2, 029千円

3. 魅力ある住環境の整備

宅地開発事業特別会計

事業費・・・5, 000千円

玉水ニュータウンは、高台に位置し眺めも良く、小学校もすぐ近くにあり。全区画 100 坪以上確保しており、ガーデニング等をゆっくりと楽しむことができます。

29 区画を整備し、残り1区画が発売中です。



玉水ニュータウン

1. 便利で快適なまちづくり

定住化促進事業

事業費・・・505千円

担当課・・・地域振興課

定住の促進は、「住みたいと思わせる玉名市の魅力を高める」ことが基本です。その上で、定住希望者に対して玉名市の魅力を発信し、本市への定住意欲を高め、定住へと結び付けていく必要があると考えています。

そこで、東京や大阪の大都市圏において開催される定住関係のフェアに相談コーナーを設け、定住希望者へ直接情報を提供します。

また、中長期滞在できる環境を用意する“お試し暮らし事業”を今年度中に立上げ、空き家バンク制度の活用と併せて玉名市への定住を促進します。



ふるさと回帰フェアと相談コーナーの様子

空き家バンク制度

まずはお電話ください。

0968-75-1421

空き家を貸したい人、売りたい人はご相談ください。



1. 便利で快適なまちづくり

ユニバーサルデザイン建築物整備促進事業
事業費・・・4,000千円

担当課・・・住宅課

高齢者や障害者の方をはじめ誰もが円滑に利用できる建築物の整備を促進するために、民間の事業者の方が、ユニバーサルデザイン計画書(誰もが利用しやすい建物となるように、すべての人に簡単・快適・安全などの基本的な視点について、施設整備の考え方や具体的な整備内容を記載した計画書)に基づき、国のバリアフリー法や熊本県のやさしいまちづくり条例に定められた不特定多数の人が利用する建物を、玉名市内に新築・増改築・改修する場合に、補助対象となる経費の2/3を交付します。なお、限度額は400万円で、建物の用途によっては補助の対象とならないものもあります。



公営住宅改修工事等
事業費・・・235,491千円

担当課・・・住宅課

下水道整備促進事業による岱明町扇崎地区の下水道管整備の施工に伴い、明神尾団地7～12号棟のトイレの水洗化改修及び汚水雑排水管を公共下水道に接続します。

地上波デジタル放送化に対応するため、市営住宅のテレビ共視聴設備等の改修を行います。また、消防法の改正に伴い、市営住宅に自動火災報知器の設置を行います。

現在、市営住宅は32団地1,234戸を管理しています。この中には大倉・一本松団地等昭和30年から50年代に建てられた住宅が全体の約8割を占めていることもあり、劣化や故障等に伴う修繕が必要となっています。



明神尾団地



明神尾団地



自動火災報知器



テレビ共視聴設備

1. 便利で快適なまちづくり

高齢者と子どものふれあい事業
事業費・・・2,615千円

担当課・・・高齢介護課



高齢者と子どもたちの交流の場となっている
一本松団地ふれあい交流館

現在、高齢化に伴う高齢者の生きがいづくりや、隣人関係の希薄化による高齢者の自宅引きこもりが危惧され、その対策が課題となっています。

一方で、少子化により兄弟の少ない子どもたちが増加しており、テレビやゲームなど一人遊びが主流で、ほとんどの子どもたちは昔遊びを知りません。

このような現状から、地域の高齢者が子どもたちに本の読み聞かせをしたり、高齢者と子どもたち合同での料理やお菓子作り教室、クリスマス会、楽しい昔話を伝える交流会などを開催することは大いに意義があります。

一本松団地ふれあい交流館では、子どもと高齢者との世代交流活動を地域ぐるみで推進し、高齢者の生きがいづくりを支援するとともに、子どもの健全育成を図ることを目的として、高齢者と子供のふれあい事業を実施しています。

交流館には、業務を受託する市社会福祉協議会の指導員2名が交代で日曜日、水曜日、祝日を除く日の午前10時から午後6時まで常駐しています。

4. 公園・緑地等の整備

公園管理事業

事業費・・・62,519千円

担当課・・・都市計画課

横島総務振興課

天水総務振興課

玉名市には、総合公園である蛇ヶ谷公園や桃田運動公園、岱明中央公園、花しょうぶ園がある裏川水際緑地、山の上展望公園、実山公園、それぞれの地区に配置されている街区公園などがあります。

市民のみなさんが、公園を憩いの場として、また、レクリエーションやコミュニティ活動の場として安全・安心に利用できるように、日常の管理や遊具施設の修繕などを行っています。



花しょうぶが咲く裏川水際緑地



山の上展望公園ビッグジャングルジム



農村景観が一望できる実山公園

1. 便利で快適なまちづくり

花の都づくり推進費

事業費・・・6,092千円

担当課・・・都市計画課



花壇を飾る季節の花々を、丹精こめて種から育てています。育てた花は、菊池川河川敷駐車場・蛇ヶ谷公園・桃田運動公園・裏川水際緑地・市役所庁舎内の花壇へ植え付けています。

また、市内の花づくり団体に、花づくりに必要な花の種・土・肥料などの購入のお手伝いをしています。花づくり団体に育てられた花は市内の各花壇に植えられています。冬から春にかけてはパンジーやハボタン、初夏から秋にかけてはマリーゴールドやサルビアの花たちが玉名のまちを美しく彩ります。これからも、さらなる「花の都玉名」づくりを進めていきます。

花はどれも、
種子から大切に
育てています。



花苗栽培事業

事業費・・・2,000千円

担当課・・・天水総務振興課

花工房てんすいでは、「花の館」上の育苗ハウスで苗を育て、道路沿いや、公共施設、ポケットパークなどへ季節の花を植栽することを活動の中心に置いて、花いっぱい運動を展開しています。また、小中学校の新入生や独り暮らしのお年寄りなどに鉢植えをプレゼントしたり、各種イベント会場を花で飾るなど様々な活動をしています。



総合支所前の花



小学生への植栽指導

1. 便利で快適なまちづくり

花づくり会補助金

事業費・・・600千円

担当課・・・横島市民福祉課

「花づくり生き生きハウス」を利用し四季折々の花を栽培することにより、市民の健康づくり及び環境美化に対する関心を高め、心豊かな住みよい生活環境及び自身の健康づくり、また、介護予防の一環として高齢者の引きこもりを防ぐため、花いっぱい運動を推進しています。



市内各地がきれいな花で飾られます。

5. 情報・通信基盤の整備

情報・通信ネットワークの整備、情報サービスの充実

事業費・・・568,208千円

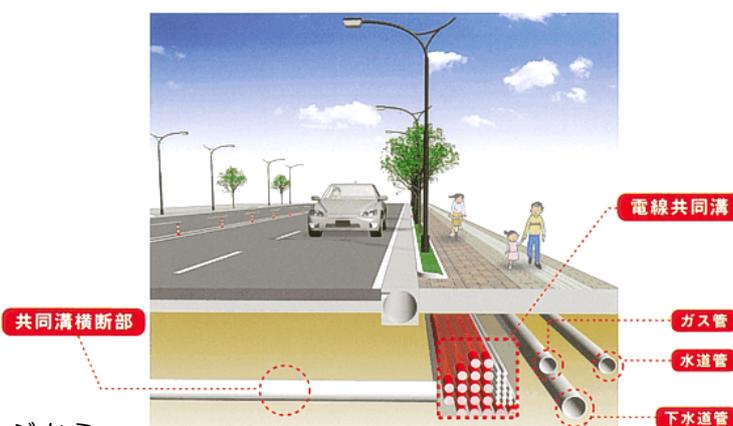
担当課・・・情報管理課
秘書課

住民票、印鑑登録、市民税や固定資産税などの各種情報、福祉情報等様々な情報を電算処理により管理しています。その電算システム機器の耐用年数が過ぎることから、システムの更新を行う必要があります。平成23年1月1日のシステムの本稼動に向け、安定稼動及び市民サービスの向上を目指しシステムの構築を行います。

また、現在、国道208号の玉名市高瀬から玉名市中までの区間で、電線共同溝事業が実施されています。電線共同溝とは、道路上の電力線や通信線を地中化するために、国によって敷設される地下管路のことです。電力線や通信線を地中化することによって電柱が撤去されるため、都市景観の向上や歩道の安全性の向上が図られます。地中化することにより、台風などの災害の影響を受けにくくなるため、断線などの被害が少なくなります。玉名市もこの区間内に、市の外局施設や小中学校を相互に接続するための光ファイバケーブルを敷設していますので、この事業に共同参画し、光ファイバケーブルの地中化を進めていきます。

その他、本市の行政情報や地域情報を広く内外に発信するため、ホームページの保守事業等を行います。

電線共同溝イメージ図



～国土交通省ホームページから～

地上デジタル放送電波障害対策事業

事業費・・・49,480千円

担当課・・・生活安全課

現在放送されている地上アナログ放送は、平成23年7月に地上デジタル放送へ移行します。この地上デジタル放送の受信が地理的に困難な地域「地上デジタル放送難視聴地域」に対して、難視聴の解消の目的に、共同受信施設の設置に対して支援を行います。